

INFORMATION

千葉東税務署長より
「感謝のことば」が贈呈

2019年7月1日、千葉大学は税務行政の運営に大きく寄与したとして、千葉東税務署長より「感謝のことば」が贈呈されました。2018年12月、国税電子申告・納税システム(e-Tax)の利用



左から、松浦事務局長、徳久学長、若林均千葉東税務署長、柳田藤盛千葉東税務署副署長

促進を図るため、千葉東税務署主催のもと西千葉・亥鼻の各キャンパスで開催されたID・パスワード出張発行では、確定申告を控えた学生や教職員が多数参加しました。

AWARD

「国際グリーンガウン賞2019」
でISO学生委員会が奨励賞受賞

2019年7月10日に開催された「国際グリーンガウン賞2019」の授賞式において、環境ISO学生委員会が「学生関与部門」で奨励賞を受賞しました。国際グリーンガウン賞は、大学で行われているすぐれた持続可能性の取り組みを表彰する世界的な表彰制度で、このたびISO学生委員会は京葉銀行とのecoプロジェクトや里山保全プロジェクトなど、企業と協働して行っている持続可能性活動が評価されました。



OBOG MESSAGE

「人を助ける人生を選んだ」という誇りと責任
桐和会グループ 理事長 岡本 和久さん

人を助ける人生を選んだ

多くの人を助ける仕事がしたいと、医者を目指しました。千葉大学を選んだのは、下町で育ったことが少なからず影響したのかもしれませんが。学生時代は、塾や家庭教師のバイトに力を入れていたので、定期試験では苦労しましたが、当時の教え子たちとは今でも定期的に食事を開くなど繋がっています。

卒業後は放射線科に入局し、その後、医局に残ることも考えましたが、地域も人も元気にしたいという思いから開業の道を選びました。初心を忘れず、桐和会グループに来てくれた人たちを第一に考えた取り組みを実践しています。たまの休みには山に登り、植物や昆虫の観察をしています。緑に触れるのが好きなので、私たちの施設にも緑を積極

的に取り入れています。医療や福祉の仕事は楽ではありませんが、この仕事を、この人生を選んだ以上は、皆さんに安心してもらえるよう「まごころ」を持って進んでいます。

やりたいことを仕事にしたい

千葉大学が進めている「全員留学」は、異なる環境に置かれることで自分自身を客観的にみることができいい機会だと思います。時代は常に変化しています。学生の皆さんにはやりたいことをやってほしい、「チャレンジしろ」「なんとかする」と言いたいですね。桐和会では、積極的に千葉大生を採用したいと思っています。採用後も、皆さんのチャレンジを応援する制度を用意しているので、興味のある方はぜひエントリーしてください！



岡本 和久 (おかもと・かずひさ)

1990年 医学部卒業、医学部附属病院放射線科勤務
1993年 篠崎駅前クリニック開院。医療法人社団 桐和会 理事長
2005年 医療法人社団だいだい 理事長
2007年 医療法人社団城東桐和会 理事長
2009年 社会福祉法人桐和会 理事長
2014年 社会福祉法人春和会 理事長



今年4月に開設した「タムス浦安病院」に「千葉大学医学部附属病院浦安リハビリテーション教育センター」を併設しました。千葉大学は高度な教育、研修、研究のフィールドを確保でき、桐和会は医療レベルの向上に繋がる新しい取り組みです。

桐和会グループ

<https://towakai.com>

tums
TOWAKAI UNIVERSAL MEDICAL SERVICE

1993年(平成5年)東京都江戸川区に篠崎駅前クリニック開院で創業。病院、クリニック、在宅などの医療事業と特養、老健、サ高住、グループホームなどの介護事業の融合。さらには認可保育園から乳児院までの総合医療福祉事業グループを形成。現事業所数は67、職員は3,500人にのぼる。江戸川区を中心とした東京都東部、川口市を中心とした埼玉県中南部エリアに集中的に事業を展開。今後は浦安市、市川市、船橋市を中心とした千葉県西部にも展開予定。
tums(タムス):towakai universal medical service